

安全情報

転棟転落・誤薬防止部会ニュース

久里浜医療センター 発行

NO.4 2012年9月

医療安全推進担当者

転倒転落・誤薬防止部会

松井、川端、加藤、今上嶋

7月は転倒リスクの高い患者様が多く入院されている東1病棟へラウンドしました。そこで、病棟看護師の荒川さんや齊藤師長さんに『転倒防止対策』について、日頃から注意していることなどについて聞いてみました。

転倒

1. 物の活用

モニター、離床センサー、安全ベルトなどを上手く利用すること

2. 『申し送り中』に気をつける

看護師の目が行き届かない時間帯を意識している。転倒が起きないように、この時間帯はナースステーション前のホールに患者さんを誘導するようにする。

3. ADLのアップ

何と言っても、患者さんの回復を目指すことが一番だそうです。アルコール依存症の患者さんは衰弱、末梢神経障害、脳への影響から歩行障害を抱えて入院することが多いため、患者さんが自分の力で回復し事故を予防できるようにスタッフ一同心がけているそうです。

頭部保護帽を4つ常備し、必要な患者さんに利用できるようにしていました。



誤薬

内服薬変更時の誤薬がおきています。内服薬変更時は次の項目を指なぞり声だし確認するようにお願いします。

- なにが**(薬剤名)
- いつから**(変更開始日)
- なにから**(変更前)
- なにへ**(変更後)
変更になった
- 新しい処方箋の確認**(薬剤名、用量、用法、処方日数)
- 従来処方されている薬の確認**
(破棄? 継続? だぶっていないか?)



※各部署にKYシートとして処方箋ファイルに保管できるように配布を検討しています。